

■中国：華龍一号用燃料、CNNC 製造工場で量産を開始

中国核工業集団有限公司（CNNC）は 2019 年 9 月 23 日、国産の第 3 世代炉である華龍一号（HPR1000）用の燃料（CF3：China Fuel 3）の量産を開始したと発表した。同社は、2014 年 7 月より開始した秦山 II-2 号機の CF3 燃料集合体 4 体の照射試験が 2019 年 3 月に終了し、商業的量産体制が整ったことを同年 5 月に明らかにしていた。CF3 は長期サイクル運転にも適用でき、華龍一号以外のプール型低温熱供給炉（燕龍：Yanlong）や多目的小型モジュール炉（玲龍一号：ACP100）にも使用されるという。同集合体は 17×17 の 264 本の燃料棒で構成されており、HPR1000 には 177 体が装荷される。CF3 は、四川省宜賓（Yibin）にある CNNC の PWR 燃料工場において製造される。